



不二硝子株式会社

平成29年3月期 決算説明資料

不二硝子株式会社

JASDAQ

株式コード:5212



平成29年3月期 決算概要

平成29年3月期 決算の総括

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済成長政策や日本銀行の金融政策が引き続き継続され、海外経済の回復や輸出・生産が底堅いことなどを踏まえて、雇用や所得環境が改善傾向にあるなど景気回復基調が続いているものの、将来的な社会保険料等の負担増に対する生活防衛意識の高まりで個人消費はなお低迷し、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する医薬容器業界は、主需要先の医薬業界において、昨年4月に薬価改定が実施された事に加え、窮迫している医療保険財政に対して政府による薬剤費抑制策が更に推し進められ、当業界の主力製品である「アンプル・管瓶」の需要が低調に推移した厳しい経営環境にありました。

このような環境下、当社グループといたしましては、主要製品はじめ関連商品の拡販と、さらなる諸経費の削減や品質水準向上に全力を注ぎ、業績の向上に努めてまいりました。

当連結会計年度の売上高につきましては、「管瓶」が減少しましたが「アンプル」や「その他」の売上が増加したことで前年を上回り、売上高26億9千4百万円（前期比0.5%増）となりました。

利益面につきましては、前連結会計年度末に増加した製品在庫の生産調整等を行ったため、売上原価で人件費や減価償却費等の固定費の比率が増加し、営業利益7千万円（前期比53.8%減）、経常利益9千1百万円（前期比47.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益5千6百万円（前期比44.0%減）となりました。

損益計算書 【連結】

単位：百万円

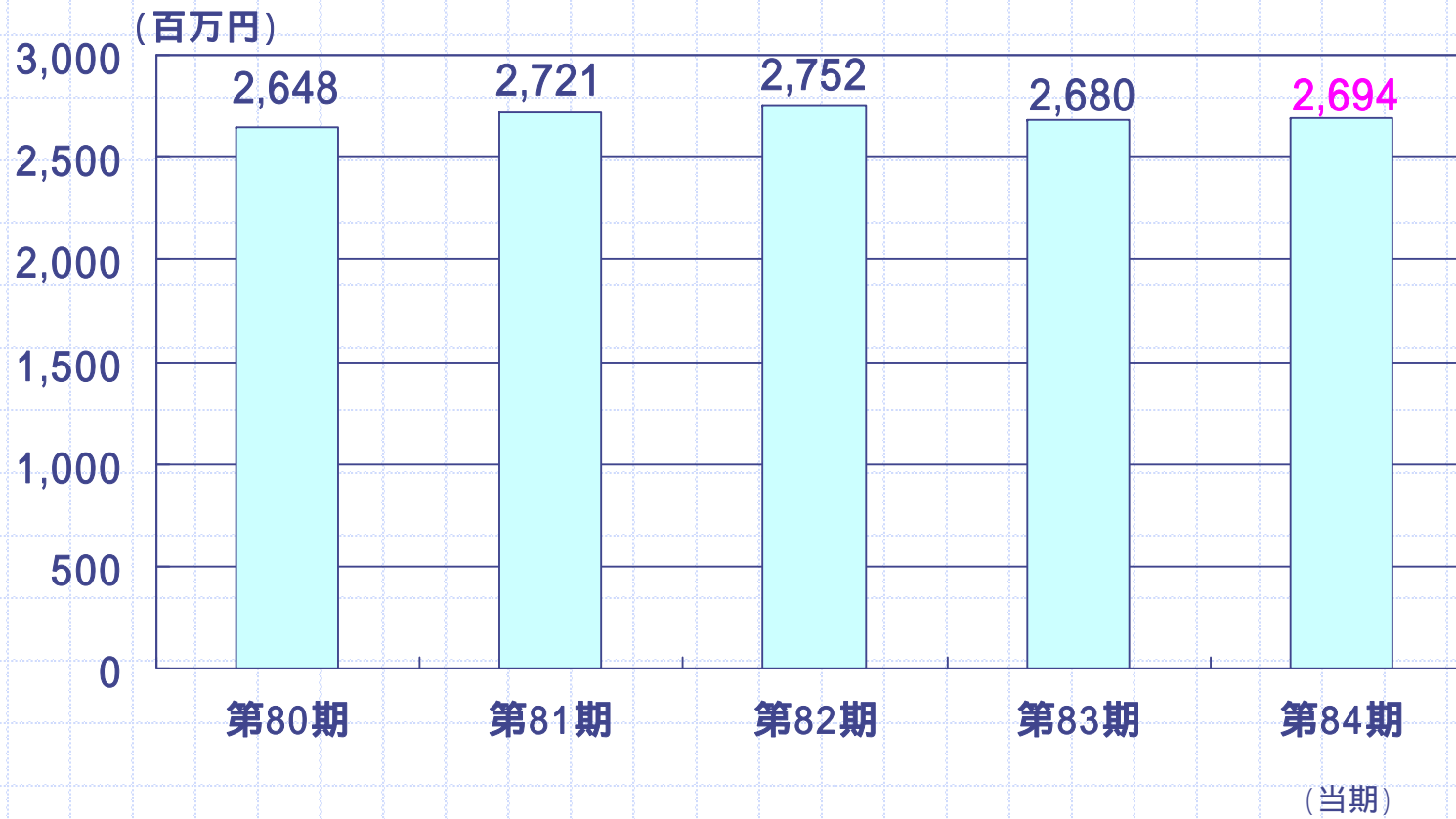
科目	当期	前期	前期比(%)	備考
売上高	2,694	2,680	0.5	
売上原価	2,204	2,096	5.2	前連結会計年度末に増加した製品在庫の生産調整等を行ったため、売上原価で人件費や減価償却費等の固定費の比率が増加しました。
売上総利益	489	584	16.2	売上原価の増加により売上総利益率が減少しました。
販売費及び一般管理費	418	431	2.8	
営業損益	70	153	53.8	
経常損益	91	174	47.8	売上原価の増加により減少しました。
親会社株主に帰属する当期純損益	56	101	44.0	

貸借対照表 【連結】

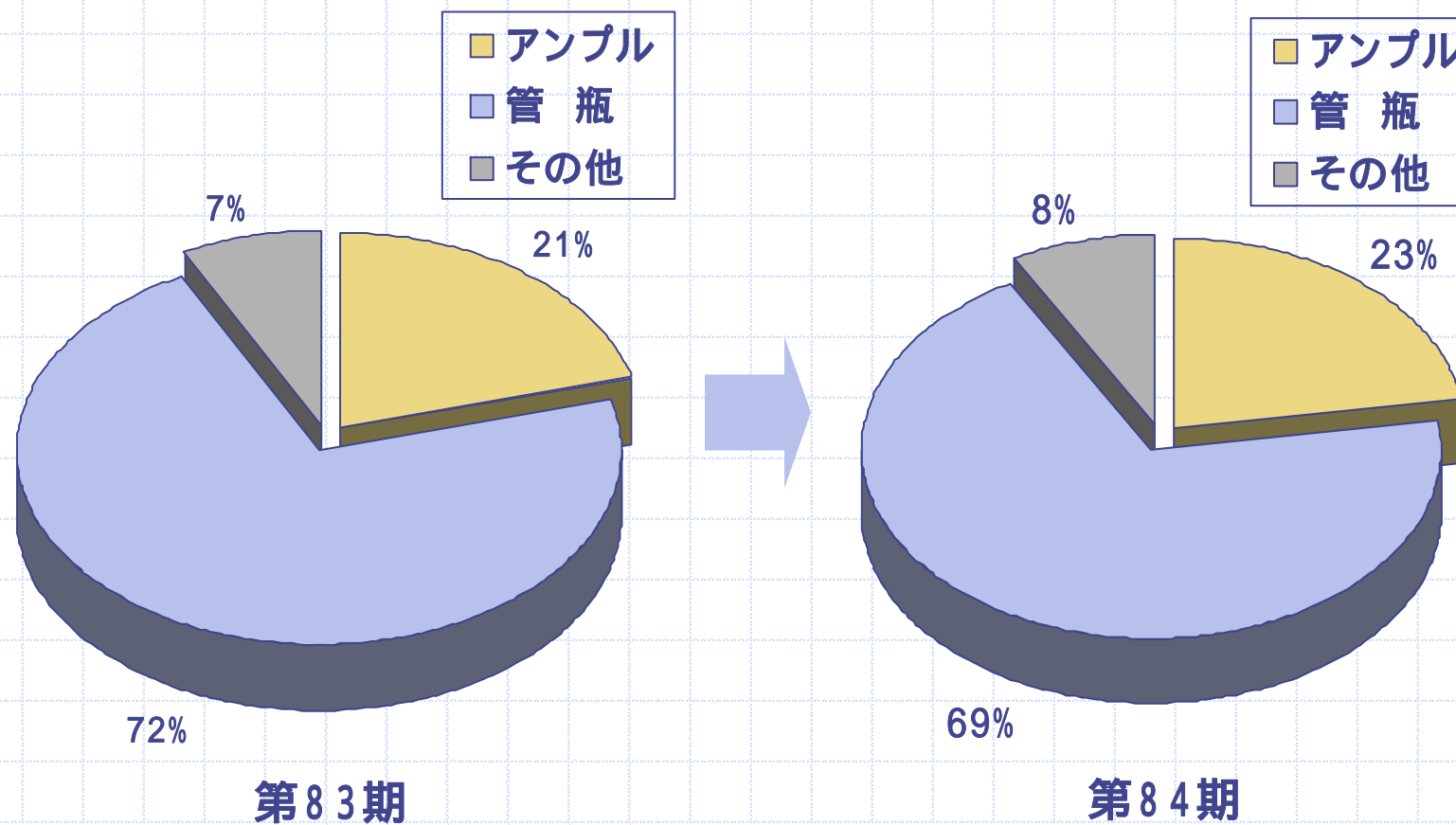
単位：百万円

部	科目	当期	前期	増減	備考
資産	流動資産	1,825	1,714	110	商品及び製品が減少しましたが、現金及び預金が増加しました。
	固定資産	1,743	1,782	38	投資有価証券が増加しましたが、有形固定資産が減少しました。
資産合計		3,568	3,497	71	
負債	流動負債	536	539	3	未払法人税等が減少した一方で、長期借入金及びその他が増加しました。
	固定負債	657	612	44	
負債合計		1,193	1,152	41	
純資産	株主資本	1,850	1,840	10	利益剰余金が増加しました。
	その他の包括利益累計額	449	432	17	その他有価証券評価差額金が増加しました。
	非支配株主持分	74	71	3	
純資産合計		2,375	2,344	30	
負債純資産合計		3,568	3,497	71	

売上推移 【連結】



売上構成比の比較 【連結】





平成30年3月期 業績予想

平成29年3月期業績予想

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり年間配当金		
						中間	期末	合計
		百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
連結	中間期	1,300	20	25	20			
	通期	2,450	30	45	25		7.50	7.50

今後の見通しにつきましては、当医薬容器業界におきましては、主たる得意先である医薬品業界において、政府による薬剤費の抑制傾向がますます強まって、引き続き厳しい受注環境となることが推測されます。

このような状況のもと、主力製品を中心に販売促進を強化するとともに、徹底したコストダウンの推進と財務体質の改善を図り、業績の向上に努めてまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高24億5千万円、営業利益3千万円、経常利益4千5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2千5百万円を見込んでおります。

《ご参考》 1株当たり予想当期純利益（通期） 12円16銭（連結）

参 考

当社の経営方針・中期経営計画

◆ 今後の経営方針

当社グループは、製薬業界における薬剤の包装容器メーカーとして、永年培った技術を駆使して、常に製品の高度な品質と安定した供給を旨とし、社会に貢献することを基本方針としております

◆ 中期経営計画

成熟化した国内市場での一層のシェア確保、高度な生産技術・工場内の整備を進め効率のよい生産管理を行い、収益性の高い強固な事業体質の構築を目指します。さらに、迅速かつ効果的な経営効率の向上のために認証取得した、国際的な管理基準であるISO9001:2008 年度版の管理体制にあわせた「情報の効率化・迅速化」を目的とした基幹系統合システムの構築と品質管理に積極的に取り組んでまいります。

◆ 会社が対処すべき課題

今後につきましては、当期同様厳しい経営環境が続くものと予想されますが、企業体質の強化を図るために、引き続き「品質の強化」「売上の拡大」「コストの低減」「管理体制の強化」を重要テーマとして、当社グループを挙げて徹底した経費の節減を行い原価の低減に傾注するとともに、製造設備の整備を進め相互補完による最適生産などによる連結経営のより一層の強化を図り、積極的な販売活動と営業拡大を行い業績向上に努力を重ねてまいります。



不二硝子株式会社

本資料に関するお問い合わせ

不二硝子株式会社

総務部

TEL : 03 - 3617 - 5111

E-mail : soumubu@silicox.co.jp